

* 2年度の改善プランの検証

調理では、包丁の使い方、ガスコンロの使い方など、基礎・基本的な知識を身に付けることができたが、感染症対策で5・6年共に調理実習を行うことが難しく、技能部分は家庭学習・夏休み課題と連携しながら行ってきた。今後もこのような状況が続くのであれば、調理実習のあり方を検討していく必要がある。

裁縫では、苦手な児童も、最後まであきらめずに取り組むことができた。玉止め・玉結び、なみ縫い、ボタン付けなどの基礎・基本的な知識・技能を、身に付けることができた。ただ、児童によって個人差があり、難なくスムーズにできる児童もいれば、一つの作業にとっても時間がかかる児童もいる。また自分で一日の達成目標を考えて取り組む児童もいるが、感心意欲は高いが時間の制限なく取り組んで終わらない児童もいる。作品を2学期以降の学習で繰り返し学習することで、確実に身に付けられるようにしたい。

「やってみよう家庭の仕事」「わたしの生活時間」「暑い季節を快適に」などの小単元でも、単元の学習の中で、自らの生活を振り返ったり、実習や実験を通して基礎・基本的な知識・技能の学習をすることができた。ただ、調理や裁縫の学習に比べて、学習したことを家庭で実践した児童が少なかった。調理や裁縫に比べて児童の関心は低くなってしまいう学習でも、児童がより「楽しい」と思えるような指導方法を工夫し、家庭での実践の意欲付けを行っていききたい。また、今後も、学習全体を通して、自分や家族の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した生活が工夫し、実践できるように、指導を続けることが必要と考える。

* 3年度の改善プラン

観点	児童の実態		明らかになった課題	具体的な授業改善案
	知識及び技能	五年	<ul style="list-style-type: none"> 裁縫道具の名称や使い方について理解ができた。 調理実習ができていないので用具の扱い方、ゆでる調理の行い方はまだ学習できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> テストなどの形式で知識・理解を問われると、正確に答えられない児童がいる。
知識及び技能	六年	<ul style="list-style-type: none"> 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的なことを理解している。 それに係る技能が身に付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 下糸の付け方や返し縫等ミシンの使い方などが理解できていない児童がいる。 調理実習を行うことができないので、体験活動が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作物を通してミシンを使う機会を増やす。 家庭の協力も得て、家庭での調理等の実践を課題としていく。
思考力、判断力、表現力等	五年	<ul style="list-style-type: none"> 裁縫を初めて行う学習が多く、意欲をもって取り組むことができたが、調べたことをもとに考えることが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことをもとに自分の考えをまとめることができない。友達の考えを生かせていない。学び合う学習が定着していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で調べたり、考えたりする学習の場面では、時間をしっかり取ってワークシートに自分の考えを記入させ、ペアや少人数のグループで考えを交流しあい、お互いの良さに気づきあう場面を作る。
	六年	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中から問題を見出して課題を設定している。 様々な解決方法を考え、実践を評価、改善し、考えたことを表現できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 頭で考えていることを、授業中に発表したり、友達に説明したりできない。 	<ul style="list-style-type: none"> まずワークシートに自分の考えを整理する時間をとり、その後表現できるようにする。
主体的に学習に取り組む態度	五年	<ul style="list-style-type: none"> 玉結び、玉どめ、なみ縫いができる。 どうしたらよりよく行えるかということを考えながら、工夫して、片づけ実習をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 縫うのに時間がかかってしまう。いびつな形のまま仕上げにしてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレットを使って提示したりわかりやすく声掛けしたりするなど、児童が綺麗に縫えるような指導をしていく。また、丁寧に仕上げた作品例を提示するなど、児童の意欲を高める工夫をする。 活動時間を十分に確保できるように計画的に指導する。
	六年	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活を大切にしている心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考えている。 家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度が養われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の実態に個人差があり、家族の一員としての意識が低い児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中に学んだことを、家庭でも実践する課題をつくり、それを評価できるようにする。